

コラム②

表紙の植物：クリンソウ

クリンソウ *Primula japonica* は庭、公園などに植栽されることがあるため分布を調べる場合、自生かどうかの判断が難しい種である。図1の黒丸印は自生を確認した場所で日高地方南部、北見地方、十勝地方などでの道東地域での確認が多い。淡黒丸印は植栽起源と思われる産地であり、これらは道央地域などで目立つ。白丸印は主にフラワーゾーン 1997 による情報産地で各地に分布情報があるが筆者は道北、道南などでは本種を余り確認していない。梅沢俊 (2017) 新北海道の花4 刷での分布記載は「留萌地方以南」とあるが、

梅沢 (2018) 北海道の草花では分布に関する詳細な記載はない。筆者は留萌以北での確認は少ないが文献などでは分布域が北上しそうである。

サクラソウの仲間はエゾシカが嫌いな成分を含むのか食害が見られない。このためかクリンソウは沢沿いや林道沿いなどに群落を確認することが多い。クリンソウ(九輪草)の花色は紅紫色であるが(図2) 広尾町豊似湖では赤色の花を確認している(図3)。土壌の影響なのであろうか。図鑑により2~5段、3~7段輪状に咲くとあるが数えた記憶はない。

(五十嵐 博)



図2 クリンソウ 紅紫花:
千歳市藤の沢



図3 クリンソウ 赤い花
広尾町豊似湖

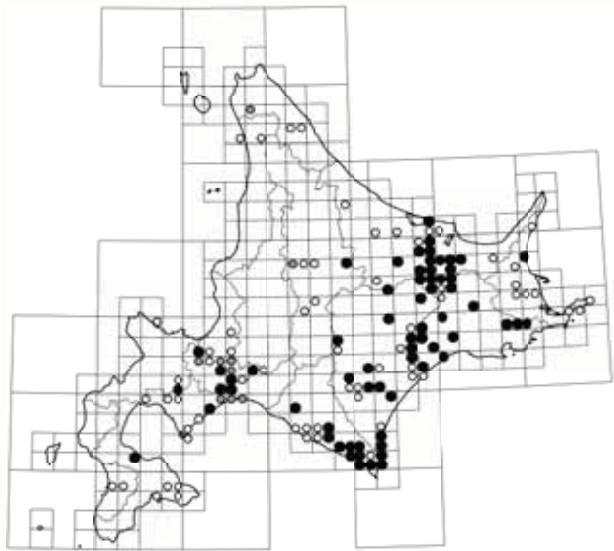


図1 クリンソウの北海道分布 2020